

7月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/07/16 (水)	東京はSECの空売り規制を受けてドル買い先行。しかし独債選に絡む円転観測などから影響一時的。欧米はドル買えない。しかしFRBが市場介入の正当性を示したことで流れ一変。ドルは高値引け。	・SECがGSEやプライマリーディーラー19社の株に空売り規制設ける ・6月の米CPIは1.1%、同鉱工業生産0.5%、同設備稼働率79.9%、5月の対米証券投資670億ドル、7月のNAHB住宅市場指数16	・FRB議長「状況によっては為替介入が正当化される場合もある」 ・6月FOMC議事録「次の対応は政策金利引き上げとなる公算」 ・カンザスシティ連銀総裁「利上げをあまり遅らせてはならない」	104.75 105.20 103.77 105.13	166.72 166.86 165.33 166.38	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/17 (木)	東京は複数の欧米新聞報道を受けて右往左往。ただ株高もあり最終的にはやや円売り優勢。欧米は原油の統廃や良好な米経済指標を受けてドル買い優勢。しかし米銀などの格下げで終盤小緩む。	・6月の米住宅着工件数106.6万件、同許可件数109.1万件、7月のFF連銀指数 16.3 ・ムンディーズがメリリッチとリマンブラザーズを格下げ、見通しは前者がステータブル、後者はネガティブ	・米財務長官はGSE支援策の議会通貨に楽観的、との記事あり ・FT紙「一部のSWFがドル建て資産を圧縮」 ・アルムニア欧州委員「ユーロ高が欧州に打撃を与えているとは言えない」	105.10 107.11 104.76 106.28	166.32 169.12 166.00 168.58	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/18 (金)	東京はNYタイムに発表されるシティGの決算をにらみ手控えムード。レンジ内での一進一退。欧米はシティGの決算を好感した動きに加え、ミネアポリス連銀総裁の強気コメントから終日ドル買い優勢。	・日銀会合議事録「物価面のリスクより景気の下振れリスク重視すべき」 ・フレディマックが100億ドルの新株発行を検討、との一部報道	・ECB総裁「FRB議長らが強いドル国益と発言したことは重要」 ・日銀総裁「現在、物価と景気のリスクは五分五分と見ている」 ・ミネアポリス連銀総裁「利上げを信用危機終了まで待つこと出来ない」	106.24 106.99 105.97 106.97	168.41 169.49 168.23 169.49	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/21 (月)	東京休場のアジア市場は小動き。ただBOE委員の発言が伝えられたボンドは買えず弱含み。欧米は原油価格が5日ぶりの上昇に転じたことや米経済指標の悪化から調整的なドル売りに押される。	・仏大統領とアイルランド首相がリスボン条約打開策を協議 ・6月の米景気先行指数 0.1%	・フランツワワーBOE委員「英国は景気後退に向かいつつある」 ・米財務長官「強いドルを支持」	106.95 107.16 106.37 106.43	169.44 169.91 169.10 169.46	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/22 (火)	東京は揉み合い。前日引け後のアムックス決算を受けた株動向に注目しつつも積極的な動き乏しい。欧米はドルが全面高の様相。FF連銀総裁やIMF筆頭副専務理事発言などが好感された。	・08年度政府経済見通し改定へ ・7月の米リッチメント連銀指数 16.5 月の住宅価格指数 0.3% ・米公定歩合議事録「12行中の10行が据え置きに投じた」	・米財務長官「ファニー、フレディに資本投入する計画はない」 ・FF連銀総裁「連銀は遅れるよりも速やかな利上げ必要」 ・リブスキ-IMF筆頭副専務理事「ユーロは過大評価されている」	106.54 107.54 106.05 107.34	169.54 169.63 169.05 169.45	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/23 (水)	東京は前日欧米タイム急騰の反動からドル売りでスタート。しかし、本邦損保によるM&A報道もあり流れ反転。欧米はドルが統伸。GSEに関する支援前向きとの報道が好感されたうえ、原油価格がドル買い要因に。	・東京海上が米損保買収へ ・7月のBOE議事録「7対2で政策金利の据え置き決定」 ・米地区連銀報告「全地区で価格圧力は上昇」 ・米下院で住宅支援法案可決	・ホワイトハウス「大統領は住宅支援関連法案に拒否権を發動しない」	107.26 107.97 107.17 107.88	169.25 169.97 169.13 169.36	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/24 (木)	東京は小動き。積極的な動きに欠けた。一方、NZドルが対円などで急落。1円を超える下げ幅を記録。欧米は発表された米経済指標が買えず嫌気した動きに加え、米債の利回り低下からドル売り優勢。	・NZ中銀が政策金利を0.25%下げ、また声明で追加利上げも示唆 ・6月の貿易黒字1386.32億円 ・7月の独IFO景況指数97.5 ・6月の米中古住宅販売 2.6%	・アルムニア欧州委員「ユーロは過大評価され、ドルには一段の下落リスク」 ・SEC委員長「全銘柄への空売り規制拡大を提案する方針」	107.91 107.99 107.19 107.33	169.26 169.37 167.93 168.27	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/25 (金)	東京は日経平均が200円を大幅安をたどったうえ、シンガポールSWFがメル株売却の噂から円は統伸へ。欧米は発表される米経済指標は総じて良好でドルの買い材料。安値から1円以上の急反発となった。	・6月の全国CPIは2.0% ・第2四半期英GDP速報値0.2% ・6月の米耐久財受注0.8%、同新規住宅販売53.0万戸、7月のシカゴ大消費者信頼感指数61.2	・シンガポールのソブリンファンドがメル株売却の噂(のちに否定される) ・オーストラリア中銀総裁「ECBの利上げ余地尽きたわけではない」 ・S&P「ファニーメイとフレディマックの優先株などを格下げの可能性」	107.29 107.95 106.58 107.85	168.30 169.48 167.51 169.43	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/28 (月)	東京は特に材料もないなか、OP絡みの損切りを巻き込み108円台へ。ただ、そのごは利食い売り優勢。欧米はドルは総じて買えない。原油の反発や米株安、米景気見通しの修正などが嫌気されていた。	・8月の独GfK消費者信頼感2.1 ・IMF「米住宅市場が底を打ったかどうかは不明」 ・ホワイトハウス「08年経済成長率見通しを1.6%へ下方修正」	・ミューンキフFRB理事「連銀はインフラゲイトを導入すべき」 ・米財務長官「カールドボンドは住宅ローンの新たな資金源」 ・ウォルシュFRB理事「カールドボンド連銀窓口貸し出し担保として適切」	107.88 108.08 107.35 107.45	169.29 169.73 169.03 169.14	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/29 (火)	東京は日経平均の動向をにらみつつ揉み合い。107円台でドルは底堅く推移。欧米はドル高というよりユーロ安。WTO決裂や原油価格の弱含みが嫌気され、ユーロドルが大幅安。	・6月の完全失業率4.1% ・WTO交渉が予想外で決裂 ・5月のS&Pケーススター住宅価格指数 15.8、7月の米消費者信頼感指数 51.9	・IMF「円相場は長期的価値を考えると過小評価されている」	107.43 108.30 107.30 108.10	169.15 169.48 168.30 168.52	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/30 (水)	東京は豪ドルを中心とした相場展開。豪金融機関に対する不安感などから豪ドルが買えない。欧米はADP全米雇用報告が予想外の増加を示したことが好感されドル堅調裡。ただ原油高が上値抑制。	・6月の鉱工業生産速報値 2.0% ・SECが緊急空売り規制を8月12日まで延長 ・7月のADP全米雇用報告9000人 ・FRBがプライマリーD向け連銀窓口貸し出しなどを来年1月末まで延長	・豪タイムズ「豪州のサブプライム問題は米国以上に深刻」 ・NZ中銀総裁「金融緩和余地が大きくなっている」 ・イランの指導者ハメイニ師「期限を越えて核開発する継続も」	108.08 108.34 107.70 108.13	168.50 168.58 167.95 168.42	24H 寄付 安値 高値 終値
08/07/31 (木)	東京はユーロが小高い。発表されたドイツ銀行の四半期決算が良好だったことも好感されていた。欧米は発表された米GDPが予想外	・6月のユーロ失業率7.3% ・第2四半期の米GDP速報値1.9%、同コアPCE価格指数速報2.1%、同雇用コスト指数速報0.7%、7月のシカゴ	・米下院「投機的先物取引の規制法案の可決見送り」 ・カナダ首相「カナダ経済のファンダメンタルズは依然強い」	108.15 108.39 107.57	168.49 169.19 168.08	24H 寄付 安値 高値

の低い数値となりセッション懸念が高まった。米株安もドル売り要因に。	PMIIは50.8	・前FRB議長「セッション入りは50%の確率」	107.93	168.40	終値
-----------------------------------	-----------	-------------------------	--------	--------	----

\* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL： <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter

FX-newsletter